

看護師さん
約100人
に訊いてみた

看護師やコメディカルスタッフの目に研修医はどんなふう映っているんだろう。好かれる研修医ってどんなだろう。気になることいろいろ、看護師さんに質問してみました。

？ 研修医に対して期待することは何ですか？

- 1位 挨拶をきちんとする ————— 63人
- 2位 報告・連絡・相談をする ————— 57人
- 3位 何事にも一生懸命 ————— 38人
- 4位 分からないことを人に聞く ————— 37人
- 5位 自分の間違いを素直に謝る ————— 36人
- 6位 礼儀正しい ————— 32人
- 7位 誰に対しても平等、同じ態度 ————— 28人

※複数回答を含む合計で算出しております。

アンケート結果から、人と人とのつながりで大切なことは、医師も一般の社会人と同様に礼儀、親身な対応、思いやりであることがうかがえました。

？ よかった、ナイスジョブと思った事は？

- 本当に忙しくて、看護師だけでは対応できない時に、ケアと一緒にしてもらった時はありがたかったです。「それは医師の仕事じゃない…」と、カルテにむかうDr.も多くなか。
- 急変時には、蘇生はNs.がして研修医に人を呼んできてもらったことがあります。
- 老婦人のお話をしっかりきける研修医はポイント高いです。
- 主治医に聞きにくい、ちょっとした相談などをきいてくれて対処が上手いかった時。
- せん妄のある患者に対して薬剤を使用せず、じっくり話を聞き関わる姿勢に感動した。
- 患者とコミュニケーションがよくとれていたため、スタッフがトラブルにあった時、仲介に入ってくれて解決してくれていた。
- 主治医が不在、又は多忙で患者と向きあえない時、研修医が対応してくれた事で患者は安心できたこと、患者にとっては、医師は医師!!

？ 「これだけはしないでほしい」と感じた事は？

- 患者さんや家族への対応は、きちんと欲しい。
- スタッフとの関係づくりができない人に患者家族との信頼関係づくりはできないと思います。
- 上級医に確認すべきことを自己判断で行う。(プライドがあるのか全て自分で解決しようとする。)
- 看護師に対して、明らかに上から目線。まちがえたことを指摘すると「そうですか」と返事。「すみませんでした」と言えるのは、コミュニケーションをとる上で大切だと思います。
- カルテだけみて患者さんの所に見に行かない。
- 自分の勝手な判断による暴走。
- 3年目(後期研修医)になれば、態度が変わる人。(医療者および患者にも優しくない。)
- 患者の前でスマホで調べる。(医療的なこと。)

RECOMMENDED SHOPS

あの先生の、この「行きつけ」

祇園みかく (東山区)

祇園みかくは、和牛肉料理の専門店です。創業は1929年 本年で88年を数えます。お肉は兵庫県産の但馬牛を中心に神戸牛、三田牛、丹波牛 等の雌牛だけを使っています。今で言うA4 A5などと見かけのみにとらわれることなく本当に美味しいものだけを最高の技術で召し上がって頂きます。

- 住 所 京都市東山区大和路通四条上ル車道
- 電 話 075-525-1129
- 営業時間 11:30~14:00(13:30オーダーストップ)
17:00~22:00(21:30オーダーストップ)
- 定休日 月曜日
※駐車場無(近隣の市営駐車場、コインパーキングを利用)

📺 ご注文時に「アルツト」を見た」と言っていたら、グラスワイン1杯サービス



2階 鉄板焼ステーキ 目の前の鉄板 3階 洋食レストランとして営業しております。 4階 牛鍋 オイル焼き、すき焼き、牛でやかれる、最上のお肉をお楽しみいただけます。

紹介者：内田 寛治 先生 (京都府医師会理事)

6年前、当時は1階にあった「みかく2nd」に1人で夜遅くフラ〜と立ち寄ったのが最初で、2015年4月にリニューアルされ、3階に移ってからもよく行っています。美味しい洋食と気さくなスタッフとの会話に惹かれ1人でも家族、仲間とでも各フロアの料理を楽しんでいます。2階の「焼きしゃぶ」は絶品ですが、私の一押しは3階の「お肉屋さんのコロッケ」です。テイクアウトも出来ますよ。

メッセージ 京都府医師会 会長 松井 道宣

研修医の皆さんにおかれましては、毎日のように新しい経験を積み、日々たくましく成長をされていることと思います。臨床1年目、2年目の経験はその後の何10年にも値するものです。しっかりと研鑽を積まれることを期待しております。4月1日に行われた新臨床研修オリエンテーションには、たくさんの先生方にご参加をいただきありがとうございました。京都府医師会は先生方のよき相談相手になりたいと思っています。お忙しい日々だと思いますが、府医で企画しております「研修医ワークショップ」や「臨床研修屋根瓦塾」に是非、ご参加いただき、京都府医師会を身近に感じていただきたいと思います。先生方のご参加をお待ちしております。



京都府医師会では本誌の定期的な発行を予定しており、次号は1月に発行致します。掲載内容向上のために、本誌に関するご意見・ご要望をお寄せください！また、研修医・編集委員を募集しています。編集に携わってみたい先生がおられましたら、事務局までご連絡ください。

ご意見・ご要望、編集委員の応募はこちら



《Arzt》:ドイツ語で「医者」を意味する言葉から本誌のタイトルを取りました。



一般社団法人 京都府医師会
〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅町6
TEL.075-354-6104 FAX.075-354-6074
http://www.kyoto.med.or.jp/



Arzt

研修医・若手医師のための情報誌『アルツト』 VOL.02



専攻医REAL INTERVIEW
少し道が見えてきた
専攻医2年目のリアルな日常

EVENT REPORT
平成29年度新研修医
総合オリエンテーション開催
臨床研修屋根瓦塾SHIZUOKAを
開催しました



少し道が見えてきた、 専攻医2年目のリアルな日常。

専攻医(後期研修医)として、進むべき道が見えてくる卒業後3年目、4年目の頃。京都中部総合医療センターで専攻医2年目を迎えた松村うつき先生に、現在の忙しい毎日と京都府北部地域での研修医時代について聞いてみました。

患者さんや地域の“近く”で研修

研修先は府立医大附属北部医療センターでした。大学や京都市周辺の市中病院との違いはいろいろありますが、ひとつ挙げるとしたら、すべての垣根が低いということ。研修以外の他科の先生にも質問しやすくフィードバックが多かったり、患者さんをはじめ看護師さんや医療スタッフとの距離が近かったり。地域のイベントにみんなで参加するなど、地域とも近い。そういうことが苦手な人もいるでしょう。でも私は、もともと、医師として人の生活に近いところで仕事がしたいと思っていたので、とても勉強になりました。もうひとつ、ごはんが本当に美味しかったです。毎日忙しい中では、「美味しく食べる」こともモチベーションに繋がるんだと実感しましたね。

学ぶべきことは、自分で探す

研修医仲間、というより同期は2人しかいませんでした。私ともう1人だけ。やはり同期が少ないと、モチベーションを保つことが難しかったですね。刺激を求めて勉強会に参加しようにも、何しろ遠い(笑)。でも2年目からは、「月に1度は絶対勉強会に行く」って決めて実践していました。研修に入る前に恩師に言われた言葉があります。「大学だろうと、市中病院だろうと、地方の病院だろうと、どこであっても2年間は同じだけ。限られた期間の中で学べる量も同じ。それなら学べること、学ぶべきことを、自分で探して学びなさい」と。どこにいても、そのときどきで、自分が学ぶべきことがきっとあるはずで、それを探りながら学び取っていきたいです。

出会う、学ぶ、知る、を重ねたい

京都中部総合医療センターは、北部地域の中で、365日、24時間、小児科医が常駐している数少ない病院。救急対応もありとても忙しいですが、若く体力があるうちにそうした環境を経験しておきたかったのが、後期研修先として選んだ理由です。主治医制を取っており、昨年から外来も任されています。経験の浅さは言い訳にできないので気持ちが引き締まります。患者さんの生活背景を想像できる医師でありたいのですが、まだまだできないことも多いです。勉強会で学んだことも、現場で生かせず反省することもあります。まだ医師になって4年目。今日知ったこと、学んだこと、出会ったことを、まずは地道に身に付けること。場数を踏むことが、最短の道なのかもしれません。

京都中部総合医療センター 小児科 松村 うつき 先生
Utsuki Matsumura

2014年 自治医科大学医学部卒業 大学卒業後9年間の京都府北部地域勤務のうち、3分の1が終わったばかり。宮津での研修医時代、病気があっても周りへの気遣いを忘れず、逆に周りを明るくしてくれて、「こういう歳のとり方をしたいなあ」と思えるおばあちゃんに出会ったのは大切な思い出。多忙な中で趣味の写真が息抜きに。



今週の松村うつき先生 赤ちゃんは毎日生まれるので、毎日仕事です。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
A M	初診外来	新生児番 病棟業務	新生児番 病棟業務	処置番 病棟業務 (回診)	処置番 病棟業務	休み	当直
P M	病棟業務 (カンファレンス)	時間外対応 (オンコール)	予約外来	乳児健診 新生児番	新生児番 予防接種 (産科カンファレンス)	休み	

松村先生のちょっといい話

当直明けでポロポロのときなど、看護師さんがこっそり、ポケットにお菓子を入れてくれたりするそう。看護師さんと良い関係を築ける女性医師ならではの嬉しいできごとです。

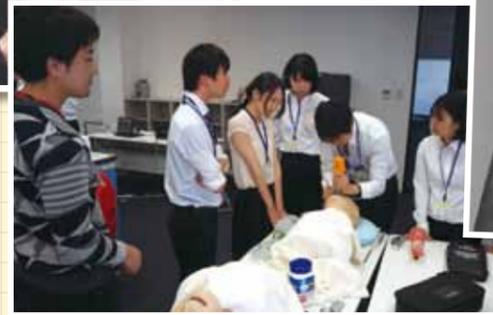
「平成29年度 新研修医総合オリエンテーション」開催

● 4月1日(土) ● 京都府医師会館

新年度が始まった4月1日、医師としてのスタートラインに立つ新研修医の皆さんが京都府医師会館に集まりました。行われたのは、「新研修医総合オリエンテーション」。医師会の意義や各種事業の目的などを学び、合わせて医師としてのスキルアップ、レベルアップ、さらにネットワークづくりにも繋げようという新人研修です。参加者たちはチームに分かれ、チームごとに問題解決ゲームに取り組んだり、京都府医療トレーニングセンターでは処置技術をシミュレーション体験。また、救急医療についての実践的な講義や、コミュニケーション・コンサルタント岩本時加子氏による講義「言葉とコミュニケーション」など、プログラムは多彩。とくにむずかかったという今年の国家試験を乗り越えて、次のステップへ進むために、理解を深め意欲を新たにすることができたという今年。国家試験を乗り越えて、次のステップへ進むために、理解を深め意欲を新たにすることができたという今年。国家試験を乗り越えて、次のステップへ進むために、理解を深め意欲を新たにすることができたという今年。

参加者の声

- ◆ 京都府医師会の仕組みや制度、活動などについて理解が深まりました。
- ◆ 医師である前に一人の社会人としての心構えを学ぶことができ大変有用であったと思います。
- ◆ 座学だけではなく途中シミュレーション体験や脱出ゲームなど楽しい時間が過ごせたと同時に、大学時代に学んだことを思い出しました。
- ◆ チーム形式の進行で、京都府内のさまざまな病院の研修医の先生方と知り合うことができて嬉しかったです。
- ◆ 「3人の救急患者さん」の講義など、研修医としての業務で触れる可能性のあることが内容に盛り込まれていた。



「臨床研修屋根瓦塾SHIZUOKA」を開催しました

● 2月5日(日) ● ホテルアソシア静岡

先輩医師が学び経験したことを次代へ教え伝えていく。その繰り返しが屋根瓦のようであることから名付けられた「屋根瓦塾」。1・2年目の臨床研修医を対象とした京都府医師会独自の取り組みを、初めて他県で実施。臨床現場で遭遇する症例などについてのロールプレイやシミュレーション研修に、静岡、京都の研修医たちが協力して取り組みました。

